

# みつぎ便り

151号  
4月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと  
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに  
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成31年4月1日 [https://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)



## チューリップ

見次便りも百五十号の節目を過ぎました。実はこれを機に今までの記事を調べたところ、何とチューリップが紹介されていなかったことが分かりました。童謡にも歌われ、毎年花壇に植えていたのに、すっかりチューリップを失念してしまいました。

チューリップは秋に球根を植え、春に花を咲かす春を代表する花です。花壇に地植えしても、鉢に植えても割と上手に花を咲かせることができます。

## ます。

大事なポイントは水はけのよい培養土、球根の約三倍の深さに細い芽を上にして植え、寒い冬の間を土の中ですごさせる三点です。後は土の表面が乾いたら、こまめに水やりをするだけです。

春になり花がしぼんだら、花芽を早めに切り取り球根に栄養が貯まるようにしてあげます。青葉が枯れてきたら、球根を掘り出し、日陰で保存します。翌年の秋に植えるとは毎年楽しむことができます。

(安)

## ヒメリユウキンカ

今年も公園のソメイヨシノが三月下旬から見事に咲いています。今回は桜の華やかさに比べ、あまり目立たない小さな山野草であるヒメリユウキンカ（姫立金花）を紹介します。

元々はヨーロッパ原産の花で、山地の湿った草原や湖畔に生える花です。日本では三月から五月に花をつける多年草です。夏の間は地上部には



姿をあらわさない夏眠性（かみんせい）の花です。

ヒメリユウキンカはキンポウゲの仲間です。毒性があります。大きさは五〜十センチで花の数は六〜八枚です。公園の花は、一重咲（ひとえぎき）の薄い黄色で光沢があり、太陽が花に当たりキラキラしています。

公園北側のメタセコイアの裏の花壇の中で、ハゼの木やスマイレの辺りに咲いています。今年はまだ一株しか確認できていませんが、まだあるかも知れないので皆さんも探してみてください。

(圭)